

平成29年三重県議会定例会 健康福祉病院常任委員会

説明資料

	頁
【所管事項説明】	
1 指定管理者による志摩病院の運営状況について	1
2 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（平成28年度分）	7

平成29年10月6日
病院事業庁

【所管事項説明】

1 指定管理者による志摩病院の運営状況について

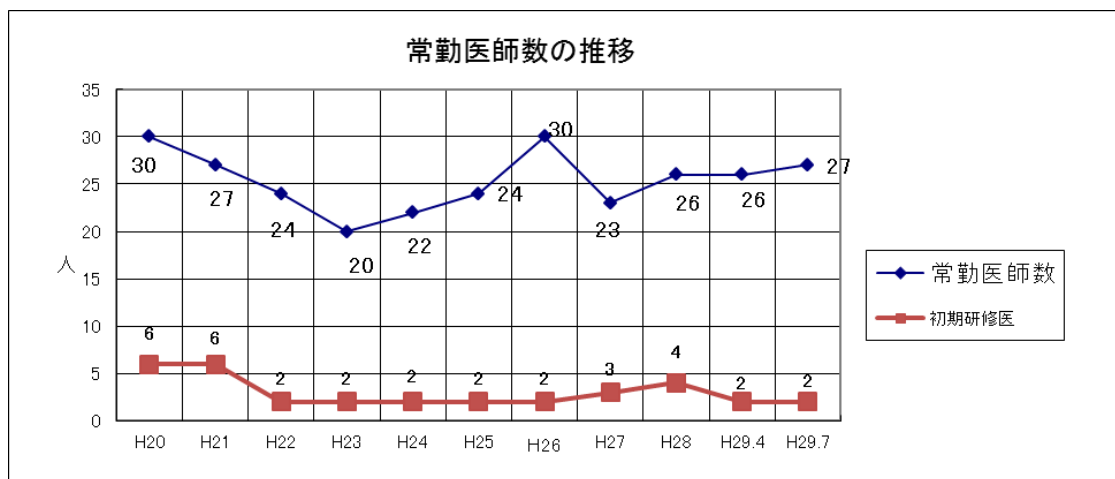
平成24年4月に指定管理者制度を導入した志摩病院については、指定管理者（公益社団法人地域医療振興協会）において、診療体制の段階的な回復を図りつつ、順調に運営を行っているところです。

指定管理開始以後、これまでの取組の成果等については、次のとおりです。

1 常勤医師数について

常勤医師数は、県直営の最終年度である平成23年4月の20名体制から段階的に増員が図られています。

- ・内科及び救急・総合診療科常勤医師の大幅な増員
- ・小児科の常勤医師1名の配置（平成24年8月）
- ・皮膚科の常勤医師1名の配置（平成25年6月）
- ・整形外科の常勤医師1名の増員（平成29年7月）



※常勤医師数は、各年度4月1日現在の数

《診療科別常勤医師数の推移》

診療科等	(単位：人)							
	県直営	指定管理						
	H24.3	H24.4	H25.4	H26.4	H27.4	H28.4	H29.4	H29.7
内科及び救急・総合診療科	5	7	11	17	11	14	14	14
循環器科	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	3	4	3	3	3	3	3	3
整形外科	3	2	2	2	2	2	2	3
脳神経外科	1	1	1	0	0	0	0	0
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	1	1	1	1	1	1
東洋医学・皮膚科	0	0	0	1	1	1	1	1
泌尿器科	1	1	1	1	1	1	1	1
精神科	3	3	3	3	2	2	2	2

【所管事項説明】

診療科等	H24. 3	H24. 4	H25. 4	H26. 4	H27. 4	H28. 4	H29. 4	H29. 7
放射線科	1	1	1	1	1	1	1	1
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0
神経内科	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア	2	2	0	0	0	0	0	0
計	20	22	24	30	23	26	26	27

初期研修医	1	2	2	2	3	4	2	2
-------	---	---	---	---	---	---	---	---

2 職員数について

指定管理者独自の奨学金制度（看護師及び薬剤師）を運用するとともに、指定管理者が運営する他施設から支援を受けるなど、スケールメリットを活かして病院運営に必要な人員を確保しています。

- ・奨学金制度の運用

【奨学金貸与者の採用実績】

区分	H25. 4	H26. 4	H27. 4	H28. 4	H29. 4	合計
薬剤師				2		2
看護師	2	3	6	9	10	30
准看護師	3	2	1			6
計	5	5	7	11	10	38

平成 29 年 9 月現在の奨学金貸与者 薬剤師：4 名、看護師：30 名

- ・「女性が働きやすい医療機関」認証制度の認証（平成 29 年 3 月）

《職員数の推移》

(単位：人)

	県直営	指定管理					
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
常勤医師	22	24	26	32	26	30	28
看護職員	172	143	147	147	153	166	162
うち正規	157	130	129	120	121	132	128
うち臨時	15	13	18	27	32	34	34
医療技術職員	42	36	35	40	39	44	52
うち正規	37	32	33	36	35	39	47
うち臨時	5	4	2	4	4	5	5
その他	51	58	68	66	65	77	84
うち正規	21	23	28	33	31	29	38
うち臨時	30	35	40	33	34	48	46
合計	287	261	276	285	283	317	326
うち正規	237	209	216	221	213	230	241
うち臨時	50	52	60	64	70	87	85

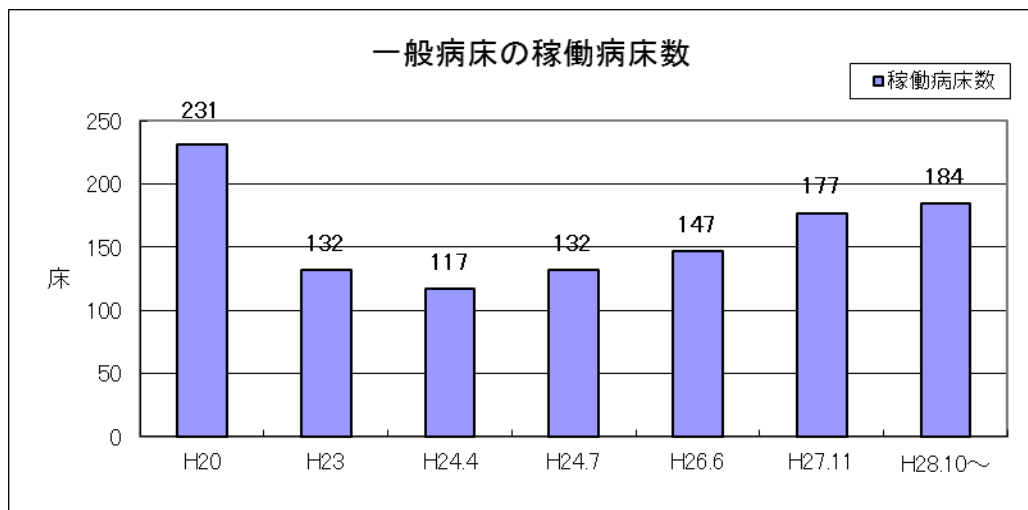
3 入院及び外来診療について

入院診療においては、指定管理移行前に休棟していた2つの病棟を再開し全ての病棟を稼働させるとともに、一般病床の稼働病床数も段階的に回復させています。

さらに、地域で不足する回復期機能を有する地域包括ケア病棟の運用を開始しています。

また、外来診療においても、小児科及び皮膚科に常勤医師を配置し、外来診療日を拡充するとともに、内科の完全紹介制の運用の一部緩和も行っています。

- ・ 指定管理移行前に休棟していた2つの病棟を再開し全ての病棟を稼働
(第6病棟：平成24年7月、第3病棟：平成27年11月)
- ・ 地域包括ケア病棟の運用開始
(平成28年2月：第3病棟30床、平成28年10月：第6病棟42床)
- ・ 稼働病床数の増



- ・ 常勤医師配置による小児科の外来診療日の拡充
(平成24年8月：週4日から週5日に拡充)
- ・ 常勤医師配置による皮膚科の外来診療日の拡充
(平成25年6月：週2日から週5日に拡充)
- ・ 内科における完全紹介制の運用の一部緩和
平日昼間の紹介のない救急患者（ウォークイン）の受入れ（平成25年11月）
消化器科外来の新設（院内標榜）による紹介制に拠らない診療の実施
(平成26年9月)

【所管事項説明】

4 救急診療について

内科系の救急患者の受入時間帯を段階的に拡充し、平成28年5月9日から24時間365日の受入れを開始しています。

《内科系 救急患者の受入態勢》

(△は隔週対応)

	区 分	月	火	水	木	金	土	日・祝
移行前	昼 間 (8:30~17:00)	○	○	○	○	○	△	
	準夜間 (17:00~22:30)					△	△	
	深 夜 (22:30~ 8:30)					△	△	

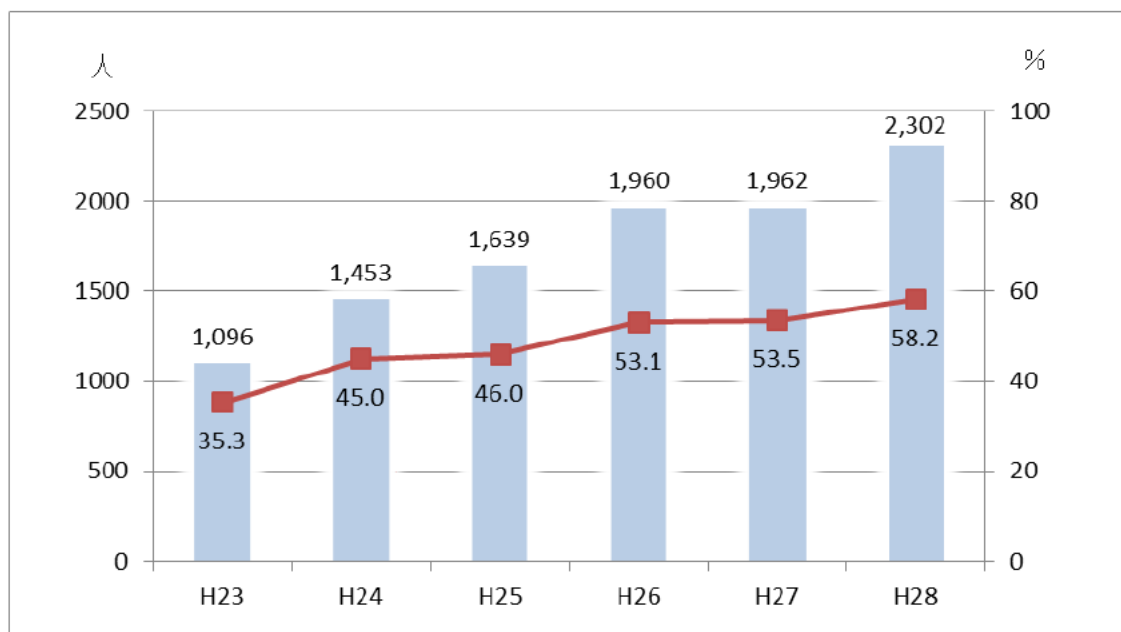


現在	昼 間 (8:30~17:00)	○	○	○	○	○	○	○
	準夜間 (17:00~22:30)	○	○	○	○	○	○	○
	深 夜 (22:30~ 8:30)	○	○	○	○	○	○	○

《外科系 救急患者の受入態勢》

	区 分	月	火	水	木	金	土	日・祝
現在	昼 間 (8:30~17:00)	○	○	○	○	○	○	○
	準夜間 (17:00~22:30)	○			○	○	△	
	深 夜 (22:30~ 8:30)					△	△	

《志摩広域消防組合からの搬送者数及び全体に占める割合》



※棒グラフ：志摩広域消防組合からの搬送者数 (人)

折れ線グラフ：志摩広域消防組合全体に占める割合 (%)

【所管事項説明】

5 患者数について

患者数については、診療機能の回復・充実に伴って増加傾向にあり、特に、平成28年度の1日平均入院患者数は、地域包括ケア病棟の運用などにより前年度と比較して大幅に増加しています。

			指定管理 移行前	指定管理移行後				
			H23	H24	H25	H26	H27	H28
1日平均患者数 (人/日)	入院	一般	111.8	113.5	114.6	116.3	115.8	131.6
		精神	91.8	93.4	91.3	89.4	88.3	90.8
	外来	一般	266.5	247.1	264.8	270.3	280.3	282.4
		精神	36.9	36.7	37.2	37.6	37.3	39.3

6 志摩病院の決算の推移について

(単位：千円)

	指定管理 移行前	指定管理移行後				
	H23	H24	H25	H26	H27	H28
①事業収益	2,592,731	2,769,266	2,930,032	3,033,298	3,065,682	3,359,025
②医業収益	2,533,796	2,721,307	2,875,503	2,970,656	3,000,106	3,291,331
うち入院診療収益	1,711,836	1,926,250	2,040,189	2,129,239	2,127,511	2,395,681
うち外来診療収益	821,960	795,057	835,315	841,417	872,595	895,649
③医業外収益	58,935	52,785	58,764	67,000	69,720	72,416
④事業外収益	815,247	1,130,739	998,120	945,190	740,177	650,862
交付金・補助金・委託収益	737,646	1,106,437	958,295	899,285	700,275	613,487
うち政策医療交付金	735,770	450,247	465,881	474,816	481,948	485,780
うち特例措置交付金	-	111,745	53,484	39,284	30,334	28,220
うち経営基盤強化交付金	-	541,343	434,851	382,408	184,137	94,859
⑤収益計 (①+④)	3,407,978	3,900,005	3,928,152	3,978,488	3,805,859	4,009,887
⑥事業費用	4,436,807	3,923,232	3,942,700	4,006,295	3,955,223	4,138,256
うち材料費	605,233	608,611	640,567	647,481	634,974	662,529
うち給与費	2,388,518	2,109,646	2,138,813	2,161,314	2,149,755	2,262,306
⑦事業外費用	195,906	549	4,962	8,410	7,634	5,915
⑧費用計 (⑥+⑦)	4,632,713	3,923,781	3,947,662	4,014,704	3,962,856	4,144,171
経常損益 (⑤-⑧)	-1,224,735	-23,777	-19,509	-36,217	-156,997	-134,284
経常損益 (経営基盤強化交付金を除く)	-1,224,735	-565,120	-454,360	-418,625	-341,134	-229,143

※指定管理移行後のH24以降は、減価償却費等が含まれないなど、指定管理移行前とは一部異なる。

【所管事項説明】

7 志摩病院に対する交付金の交付状況について

(単位：千円)

	H24	H25	H26	H27	H28
政策的医療交付金	450,247	465,881	474,816	481,948	485,780
特例措置交付金（現給補償等）	111,745	53,484	39,284	30,334	28,010
経営基盤強化交付金	565,120	454,360	418,625	341,134	(※)94,859
計	1,127,112	973,725	932,725	853,416	608,649

※H28の経営基盤強化交付金は、追加交付予定額を含んでいない。

【参考】県直営時の一般会計繰入金（収益的収支分）

平成22年度 727,534千円

平成23年度 735,770千円

8 さらなる診療体制の回復について

指定管理者制度導入後は、診療体制の段階的な回復が図られているところですが、一方で、常勤医師のさらなる増員、外科系の24時間365日の救急診療体制の整備、産婦人科・小児科の診療機能の回復など、志摩地域の医療ニーズに的確に対応していくためには、さらなる取組が必要です。

このため、引き続き、指定管理者と十分に連携を図りながら、志摩病院の一層の診療機能の回復・充実に努めていきます。

【所管事項説明】

2 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（平成28年度分）

< 県の評価等 >

施設所管部名： 病院事業庁

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県立志摩病院(志摩市阿児町鶴方 1257)
指定管理者の名称等	公益社団法人地域医療振興協会 理事長 吉新通康 (東京都千代田区平河町 2-6-3)
指定の期間	平成 24 年 4 月 1 日～平成 34 年 3 月 31 日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・診療等に関する業務 ・利用に係る料金の收受等に関する業務 ・手数料の徴収に関する業務 ・施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務 ・その他志摩病院の管理上必要と認める業務

2 施設設置者としての県の評価

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	H27	H28	H27	H28	
1 管理業務の実施状況	B	B			24 時間 365 日の内科系の救急患者の受入れ開始や三重県地域医療構想で不足しているとされる回復期機能を有する地域包括ケア病棟の拡大など、診療機能の回復と医療ニーズに対応した取組が行われている。
2 施設の利用状況	B	B			地域包括ケア病棟の増床や救急患者の受入態勢の更なる拡充により、入院患者、外来患者、救急患者は、前年度に比べ増加している。
3 成果目標及びその実績	C	C			各指標とも成果目標は下回っているものの、1日平均入院患者数、1日平均外来患者数、延べ外来患者数、1か月平均救急患者数、経常収支比率は、前年度より改善している。

※「評価の項目」の県の評価： 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	<p>指定管理者制度の導入から5年が経過し、これまで段階的な診療機能の回復が図られてきたところであるが、平成28年度も総合診療医を中心とした医師、看護師、薬剤師など医療スタッフを確保し、診療体制の充実を図るとともに、救急受入態勢の拡充や地域包括ケア病棟の拡大など診療機能の更なる回復が図られている。特に、救急診療は、平成28年5月9日から24時間365日の内科系の救急患者の受入れを実施している。こうした入院及び外来診療における取組により、患者数が増え、利用料金収入も前年度より大幅に増加することができた。</p> <p>一方で、成果目標については、1日平均入院患者数、1日平均外来患者数、延べ外来患者数、1か月平均救急患者数、経常収支比率とも前年度より改善しているものの、全ての指標とも目標には達していないことから更なる成果向上に努める必要がある。</p>
--------	---

【所管事項説明】

<指定管理者の評価・報告書(平成28年度分)>

指定管理者の名称:公益社団法人地域医療振興協会

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1)管理業務の実施状況

① 三重県立志摩病院の管理運営事業の実施に関する業務

- ・診療体制については、地域医療振興協会の研修プログラムによる後期研修医師（総合診療科）並びに県からの派遣医師（内科）が1名ずつ増員したため、平成28年4月の常勤医師は26名体制（初期研修医4名除く。）となり、診療体制の充実を図ることができた。
- ・救急診療については、医師及び看護師等の確保を図り、平成28年5月9日から24時間365日の内科系の救急患者の受入れを開始した。
- ・入院診療については、地域医療構想の策定作業が進められていた中で、地域において不足している回復期機能を有する地域包括ケア病棟を、平成28年2月から運用開始した3病棟に加えて、同年10月から6病棟も急性期病棟から転換を図った。併せて、一般病棟の稼働病床数を177床から184床に拡大した。
- ・看護職員については、平成28年度中に13名を採用して運営に必要な看護職員を確保した。また、将来的な看護師確保対策として設けた奨学金貸与制度における平成28年度貸与者総数は39名で、このうち10名を平成29年4月に採用した。
- ・薬剤師については、平成28年4月に3名を採用するとともに、協会内他病院から1名支援を受け7名体制を確保した。薬剤師も奨学金貸与制度を設けており、平成28年度末の貸与者数は4名で、今後の病院運営に必要な薬剤師の人員確保に努めた。

② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

- ・一般病棟の竣工が昭和63年、管理検査棟が平成元年、精神病棟が平成3年で、建設から25年以上が経過し、建物及び施設設備の老朽化が激しく、修繕による対応が多発している。経年劣化による損傷や腐食等も多くあり、今後も緊急対応が必要な修繕箇所が多く見られる。平成28年度においては、病院事業庁により保育児童増に伴う院内保育所の改築工事や電源設備等の改修が行われた。
- ・医療機器については、計画的に更新等を行っているが(病院事業庁が購入)、経過年数や利用状況から、修理をしなくては利用が困難な機器も多数ある。
- ・診療材料、医療消耗品については、一元化して管理するSPDを導入しており、定期的にSPD委員会を開催して物品の使用状況を把握しながら定数管理している。後発医薬品についても積極的に使用し、経費削減に努めた。

③ 施策への配慮に関する業務

- ・平成28年5月26日、27日に開催された「伊勢志摩サミット」では、サミット関係者に対する診療を行う派遣チームの受入れ及び協会独自の支援を実施するとともに、地域の拠点病院として救急患者の受入れも含めて診療体制を強化して対応した。
- ・省エネルギーの対策として、こまめな消灯や照明の間引き及び電球の一部LED化などによる節電対策を前年度に引き続き実施した。
- ・思いやり駐車区画を正面玄関入り口付近と立体駐車場に設け、適正な利用について啓発を行った。
- ・平成29年3月には、県が推進する「女性が働きやすい医療機関」の認証を受けた。

④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

- ・整備した規程に基づき、個人情報管理責任者を配置して、適切な管理を行った。

⑤ その他の業務

- ・地域連携センターでは、地域の医師会、介護福祉施設、関係団体と顔の見える関係を築くとともに、地域の医療連携の中核病院として役割を担うべく、専門職を対象とした研修会を実施した。また、各地域に出向いて話し合うタウンミーティング(計3回)や地域住民対象の学習会(計8回)等を開催することで、地域から医療に関する意見や要望を聞き、当院の取組に反映している。
- ・一般病棟においては、社会福祉士と看護師による複数での支援体制を継続し、支援困難なケースに対しては、毎回、地域連携センター内でカンファレンスを重ねて対応した。
- ・平成26年4月に発足した地域住民の方々によるボランティア組織「うさぎの会」により、院内の案内、声掛け、車椅子の手伝いなど、来院者の支援が継続して行われている。

【所管事項説明】

(2) 施設の利用状況

	目標	実績
1日平均入院患者数	256.0人	222.4人
1日平均外来患者数	338.9人	321.6人
1か月平均救急患者数	750.0人	505.5人

2 利用料金の収入の実績

	目標	実績
入院収益	2,716,622千円	2,392,986千円
外来収益	1,175,680千円	893,623千円
その他医業収益	73,221千円	52,723千円

3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位:円)

	収入の部		支出の部		
	H27	H28		H27	H28
指定管理料	481,948,000	485,780,000	事業費	3,893,909,892	4,071,075,766
利用料金収入	3,043,518,823	3,339,332,046	管理費	61,313,000	67,180,000
その他の収入	280,392,141	184,774,475	その他の支出	7,633,559	5,915,027
合計 (a)	3,805,858,964	4,009,886,521	合計 (b)	3,962,856,451	4,144,170,793
収支差額 (a) - (b)	△156,997,487	△134,284,272			

※参考

利用料金減免額	—
---------	---

4 成果目標とその実績

成果目標	1日平均入院患者数	256.0人/日	
	1日平均外来患者数	338.9人/日	
	延外来患者数	99,964人	
	1か月平均救急患者数	750.0人/月	
	経常収支比率	100.0%	
	利用者満足度	85.0%	
成果目標に対する実績	1日平均入院患者数	222.4人/日	(H27実績:204.1人/日)
	1日平均外来患者数	321.6人/日	(H27実績:317.6人/日)
	延外来患者数	78,159人	(H27実績:77,188人)
	1か月平均救急患者数	505.5人/月	(H27実績:457.1人/月)
	経常収支比率	96.8%	(H27実績:96.0%)
	利用者満足度	75.7%	(H27実績:76.3%)
今後の取組方針	<p>志摩地域における中核病院として、地域住民に良質で安心な医療サービスが提供できるよう診療体制の回復に努めるとともに、地域医療構想で示された当病院の方向性に柔軟に対応し、地域の医療提供体制の構築に引き続き貢献していく。</p> <p>また、平成28年5月から実施している内科系の24時間365日の救急患者の受入れについては、今後も継続していくとともに、総合診療医及び救急医による幅広い疾患の受入れと、総合診療医と専門医との連携により医療の充実を図り収支改善を図っていく。</p>		

【所管事項説明】

5 管理業務に関する自己評価

評価の項目	評価		コメント
	H27	H28	
1 管理業務の実施状況	B	B	総合診療医を中心とした医師や看護師など医療スタッフを確保し、診療体制の充実を図るとともに、24時間365日の内科系の救急患者の受入れや地域医療構想で不足とされた回復期機能を有する地域包括ケア病棟の拡充により、地域の医療ニーズに対応している。
2 施設の利用状況	B	B	入院診療機能及び救急診療機能の段階的な回復と拡充により、患者数の受入増加に努めた。地域包括ケア病棟は3病棟に加え、10月に6病棟も急性期病棟から転換したことにより、入院患者の大幅な増加に繋がった。 また、内科系の24時間365日の救急受入態勢を開始したことで、救急患者数も大幅な増加にした。
3 成果目標及びその実績	C	C	1日平均入院患者数、1日平均外来患者数、1か月平均救急患者数及び延べ外来患者数は、前年度より改善した。特に、地域包括ケア病棟の運用により内科、整形外科の入院患者が増加したことで、1日平均入院患者数は前年度より大幅に上回る事ができた。 また、経常収支比率は、入院収益の増額により昨年度より改善したものの目標達成はできなかった。

※評価の項目「1」の評価： 「A」→ 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
「B」→ 業務計画を順調に実施している。
「C」→ 業務計画を十分には実施できていない。
「D」→ 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」、「3」の評価： 「A」→ 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
「B」→ 当初の目標を達成している。
「C」→ 当初の目標を十分には達成できていない。
「D」→ 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	<p>平成28年度は指定管理者制度へ移行後5年目に当たり、更なる診療機能の回復に努めた。</p> <p>入院機能については、地域医療構想で伊勢志摩区域に不足しているとされる回復期機能を有する地域包括ケア病棟を30床から72床へ拡充し、地域の医療ニーズに的確に応えることができた。</p> <p>また、地域医療振興協会の研修プログラムにより後期研修医を確保するとともに、県の派遣医師の増員などを図りながら、内科系の24時間365日の救急患者の受入れを開始することにより、地域住民に対する救急医療の利便性を高めた。また、ドクターヘリとの連携による重症患者の受入れも行った。</p> <p>さらに、小児医療の体制については、前年度に引き続いて常勤医師による週5日の外来診療を行う中で、慢性期疾患や急性疾患の患者受入にも対応した。さらに、診療だけではなく、育児支援相談、予防接種、乳児健診など保健予防活動も積極的に行い、地域の小児医療に対する幅広い取組を進めてきた。</p> <p>収支状況については、地域包括ケア病棟の拡充や内科系の24時間365日の救急患者の受入れの開始等に伴う入院患者、外来患者数の増加による収益増だけでなく、水道光熱費や委託費など費用の節減に努め、経営の健全化に取り組んだ。</p> <p>施設・設備の老朽化等の対応や高額な医療機器の更新については、引き続き県と連携を密にし、計画的に導入していきたい。</p>
--------	---

【所管事項説明】

【参考】

志摩病院の管理業務に関する経費の収支状況の内訳

(単位:円)

項 目	H27決算額	H28決算額	差(H28-H27)
収入の部			
① 指定管理料	481,948,000	485,780,000	3,832,000
政策的医療交付金	481,948,000	485,780,000	3,832,000
② 利用料金収入	3,043,518,823	3,339,332,046	295,813,223
入院診療収益	2,124,670,125	2,392,986,210	268,316,085
外来診療収益	871,291,409	893,622,702	22,331,293
室料差額収益	30,010,080	35,055,660	5,045,580
保健予防活動収益	17,547,209	17,667,474	120,265
③ その他の収入	280,392,141	184,774,475	△ 95,617,666
利用料金以外の事業収益	22,162,722	19,692,767	△ 2,469,955
交付金・補助金・委託収益	218,326,843	127,706,716	△ 90,620,127
うち経営基盤強化交付金	184,137,000	94,859,000	△ 89,278,000
その他の事業外収益	39,902,576	37,374,992	△ 2,527,584
④ 収 益 計 (①+②+③)	3,805,858,964	4,009,886,521	204,027,557
支出の部			
⑤ 事業費	3,893,909,892	4,071,075,766	177,165,874
材料費	634,974,123	662,529,408	27,555,285
給与費	2,149,755,079	2,262,306,485	112,551,406
委託費	424,525,244	440,365,419	15,840,175
設備関係費	445,692,210	466,870,755	21,178,545
うち管理受託等負担金	244,852,563	251,728,590	6,876,027
研究研修費	12,547,910	11,984,730	△ 563,180
経費	226,415,326	227,018,969	603,643
⑥ 管理費	61,313,000	67,180,000	5,867,000
管理費	61,313,000	67,180,000	5,867,000
⑦ その他の支出	7,633,559	5,915,027	△ 1,718,532
事業外費用	7,633,559	5,915,027	△ 1,718,532
⑧ 費 用 計 (⑤+⑥+⑦)	3,962,856,451	4,144,170,793	181,314,342
収 支 差 額 (④-⑧)	△ 156,997,487	△ 134,284,272	22,713,215
経営基盤強化交付金を除いた収支差額	△ 341,134,487	△ 229,143,272	111,991,215